

2024年度（令和6年度）学校評価自己評価表

駅家南中学校区	校番46	福山市立宜山小学校
最終更新日		2024 年（令和6年）4月 1 日

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	思考力・判断力 コミュニケーション能力 自己理解・自信
○各校の授業を交流し、授業改善を前向きに、引き続き行ってもらいたい。 ○不登校児童・生徒数と学校に来れない現状の把握を今後とも大切に取り組んでほしい。 ○子どもに「生きる力」を身につけさせるのは、先生だけではありません。保護者、地域住民、本人が協力して、話しながら取組を進めてほしい。	○自己有用感、自己肯定感が低い児童・生徒において、学ぶ意欲の向上に課題がある。 ○学校や地域の課題を踏まえて、何が必要なのか考えたり、実際に解決するために行動化できる児童生徒が増えた。 ○長欠・不登校の児童・生徒数が増加傾向にあり、支援が必要である。	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	駅家に愛着と誇りを持ち 主体的に行動する児童生徒
		中学校区として統一した取組等	○教材研究を深め、子ども主体の授業づくりを行う。 ○保護者、地域と連携したふるさと学習を積み上げる ○自ら課題を見つけ、他者と協力して地域貢献できる子どもを育成する。

III 自 校

ミッション		育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)				思考力・判断力 コミュニケーション能力 自己理解・自信			
ふるさとに自信と誇りをもち、社会に貢献できる、自立した子どもの育成		めざす 子ども像					思考力・判断力	コミュニケーション能力	自己理解・自信
学校教育目標						1・2年	自分の考えを持つことができる。	自分の考えを伝えたり、友達の話を聞いたりすることができる。	自分の良さや、伸びに気付くことができる。
自ら考え学び 社会に貢献できる子どもの育成						3・4年	自分の考えを持ち、学習の仕方や行動を自己決定することができる。	自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け止めたりする中で、仲良く過ごすことができる。	自分や友達の良さや伸びに気づき、広げることができる。
現 状						5・6年	疑問や関心を持ち、学んできたことをいかし、学習の仕方や行動を自己決定することができる。	目的や意図に応じ、考えや思いを伝えたり、相手の考えや思いを理解したりして、協働することができる。	自分や友達の良さを認め合い、憧れのリーダーとして自己有用感を持つことができる。
＜児童＞ ○書くことで、自分の考えを表現できる児童が増えてきた。 ○感染症対策等で運動量が減ったためか、体力テストの結果が下がった。 ○少し難しいことに挑戦してみようという意欲が育ってきた。 ○異学年間のつながりが強く、あこがれの上級生から学ぶことができる。 ○地域に支えられているという意識が高く、郷土愛が醸成されている。 ＜授業＞ ○「分からない」が安心して言え、学び合おうと意識が変わってきた。 ○児童が活躍する場面を増やす授業改善に取り組んでいる。 ○目の前の児童の学びに応じて臨機応変に変える授業までには至っていない。 子ども主体の学びについて、引き続き工夫改善していく必要がある。		研究	テーマ	子どもの学びの過程を大切にし、子どもと創る授業					
			内容等	重点化！学びの自己調整力～子どもたちの自己決定の場を通して～					
		めざす授業の姿		○ 子どもが、課題について考えたい、伝え合いたい、友達の考えから学びたいという意欲をもっている。 ○ 子どもが、自己決定していく中で、自分の学びを振り返り、積み上げていく。					

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立宜山小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	70以上 達成 評価	70未満 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	70以上 達成 評価	70未満 評価	総合 評価
2	自ら学ぶ児童 の育成 ～宜山っ子憲 章を実現する 子どもを目指 して～ ・つますきも 友と咲かせる 学びの花 ・育てよう 相手の思いに 気づける心 ・広げよう 一日一ツ 笑 顔の輪	★	継 続	○確かな学力の 定着 ○主体的に学ぶ 意欲・態度の向 上	○教材研究を深 め、学びの過程 に自己決定の 場を取り入れ る。 ○自分をふり返 る力をつける。 3Mに取り組 む。	○児童の肯定的 評価85%以上 ○教職員アンケ ート ○児童のふり返 り達成率80% 以上								
				○相手意識をも って人と関わ る児童の育成	○「にっこり！た まて箱」による 学び合いを行 う。	○6年生の紹介 の割合100% 以上 ○友達のよさを 見つけ、認める ことができた 児童の割合 80%以上								
		継 続	○体を動かすこ とが楽しいと 思える児童の 育成	○学級活動や委 員会活動等 を通して外遊 びに取り組む。	○児童アンケ ート肯定的評価 80%以上									
			継 続	○地域に貢献す る児童の育成	○SDGs「11 住み続けられ るまちづくり を」を実現す るために、地域 社会に児童が 関わる活動を 推進する。	○地域のよさを 感じている児 童の割合80% 以上								
1	保護者・地域 に信頼される 学校			新 規	○保護者から寄 せられた相談 事を記録化し、 解決を図る。	○相談事の記録 及び解決した かどうかの確 認を毎週末に 行う。	○解決に向けて 取り組むを行 った割合 100%							